

鹿児島市からアジアへのアクセス

航空機でのアクセス

鹿児島空港から

ソウル	1時間30分
上海	1時間40分
台北	2時間
香港	3時間

福岡空港から

シンガポール	6時間45分
バンコク	6時間
ハノイ	4時間50分
ホーチミン	5時間15分

鹿児島空港までのアクセス

鹿児島中央駅 **約40分** 鹿児島空港
[空港直行バス]



インフォメーション

交流に関すること

- 鹿児島市国際交流課TEL:099-216-1131 URL:<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>
- かごしま国際交流センター(鹿児島市国際交流財団)TEL:099-226-5931 URL:<http://www.kiex.jp/>
- 国際交流プラザ(鹿児島県国際交流協会)TEL:099-221-6620 URL:<https://www.kiaweb.or.jp/>

観光に関すること

- 鹿児島市観光プロモーション課TEL:099-216-1344 URL:<http://www.kagoshima-yokanavi.jp/>
- 鹿児島観光コンベンション協会TEL:099-286-4700 URL:<http://www.kagoshima-yokanavi.jp/cvb/>
- 鹿児島県観光連盟TEL:099-223-5771 URL:<http://www.kagoshima-kankou.com/>

産業に関すること

- 鹿児島市産業政策課TEL:099-216-1318 URL:<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>
- 鹿児島県貿易協会TEL:099-251-8484 URL:<http://www.kibc-jp.com/>
- 日本貿易振興機構(JETRO)鹿児島貿易情報センターTEL:099-226-9156 URL:<https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/kagoshima/>

ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略

2018(平30).10.23策定
2022(令4).3改定

鹿児島市アジア戦略室 TEL:099-808-7510 URL:<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>



リサイクル適正の表示：紙ヘリサイクル可

ネクスト “アジア・鹿児島” イノベーション戦略

KAGOSHIMA CITY



鹿児島市



アジアとの交流のゲートウェイ・鹿児島市

17世紀初頭に徳川幕府が外国人や外国船の寄港地を制限する以前、鹿児島は海外交流の拠点として栄えていました。鹿児島の港には、日本各地から外国へ向かう船や人が集まり、中国や東南アジアの船が数多く寄港し、外国人居留地も形成されていました。

また、鎖国体制下においても、薩摩藩では、北前船を通じて蝦夷から取り寄せた昆布等を、琉球を経由して中国へ運ぶ交易が藩財政の立て直しに大きな役割を果たし、明治維新につながるなど、アジアとさまざまな情報や物資などの交流が盛んに行われ、異国情緒あふれる文化が育まれていました。



1843(天保14)年頃の上町付近の様子。港には琉球船など数多くの船が浮かんでいます。
〔出典〕鹿児島市立美術館蔵「天保年間鹿児島城下絵図」(一部)

鹿児島市とアジアとの関わり

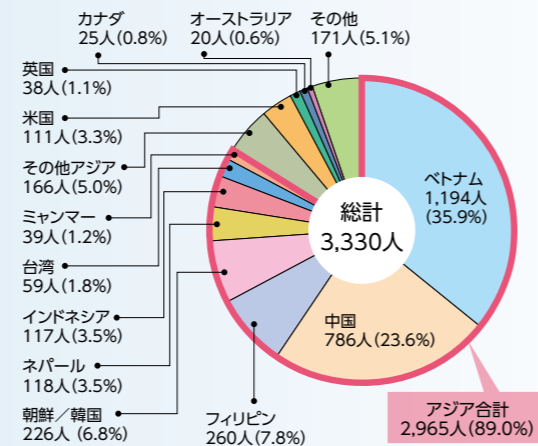
《国際交流など》

本市では、本市や鹿児島市国際交流財団をはじめ、関係団体やNPO法人、市民団体などさまざまな主体がアジアとの多彩な交流活動を行っています。

本市は1982(昭和57)年に中国の長沙市と友好都市を締結したほか、「青少年の翼」事業による青少年の派遣、かごしまアジア青少年芸術祭の開催など、交流を深めているほか、2020(令和2)年には「かごしま国際交流センター」の供用を開始し、講座やイベントを開催することで国際交流のさらなる推進を図っています。

また、本市には、技能実習生をはじめとして、3,300人を超える外国人が居住しており、うち約9割がアジアからの外国人となっています。

鹿児島市国籍・地域別外国人住民基本台帳人口



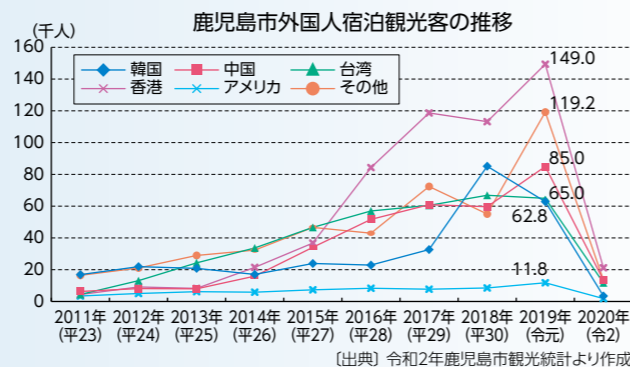
〔出典〕鹿児島市公表資料より作成(2021(令和3)年4月1日現在)

《観光》

過去最高を更新した2019(令和元)年の本市の外国人宿泊観光客数は、前年に比べ104,653人増(前年比27.1%増)の493,024人となっています。

国・地域別の内訳では、香港(30.3%)、次いで中国(17.2%)、台湾(13.2%)、韓国(12.7%)と続き、この4つの国・地域で全体の73.4%を占めています。

※右図中、2020(令和2)年の外国人宿泊観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、激減

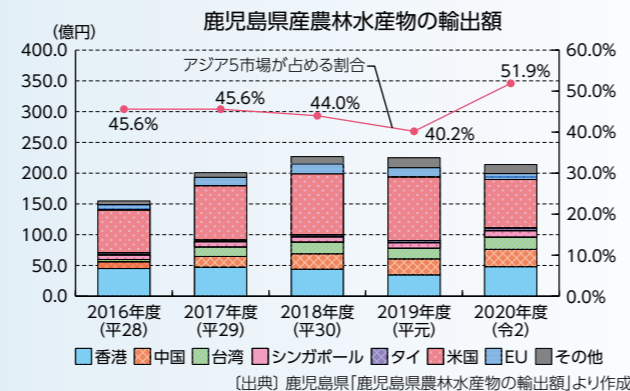


〔出典〕令和2年鹿児島市観光統計より作成

《産業》

市内企業等のアジアにおける主な進出先は、中国や香港、シンガポール等で、「食」に関連する小売・卸売業をはじめ、サービス業や製造業など幅広い業種の企業が進出しています。

また、県産農林水産物の輸出額は増加傾向にあり、2020(令和2)年度には、アジア向けの輸出額が上位5つの国・地域で、110億円を超え全体の5割を占めるまでになっています。



〔出典〕鹿児島県「鹿児島県農林水産物の輸出額」より作成

アジア・鹿児島マップ

市内のアジア関連スポットの一例をご紹介します



《アジアとの交流の歴史スポット》

- ① 二官橋通り
一説によると、島津家に仕えた中国人医師「沈一貫」は、名医として有名になり、住んでいた近くの清滝川に架かる橋に「一貫橋、二貫橋、三貫橋」の名前がつけられ、やがて「貫」が「官」になり、通りの名前になったといわれています。
- ② 三官橋通り
一説によると、近くに住んでいた中国人医師「沈一貫」の「貫」と唐国の「唐」をとって、貫唐橋(カンガラパン)と呼んでいたといわれています。現在では1925(大正14)年に掛け替えられたときの親柱4つだけが残っています。
- ③ がんがら橋
「ボサド」の名の由来は、地藏角近くに菩薩堂があったことにちなみ、菩薩堂(ボサド)通りとなったといわれています。この菩薩堂には、中国人が航海の神と崇める女神・媽祖(天妃・観音菩薩ともいう)の像が祭られており、堂は1630(寛永7)年、中国から帰化した黄一官が建てたと伝えられています。
- ④ ボサド通り
1549(天文18)年、イエズス会の宣教師ザビエルは鹿児島に上陸しキリスト教を伝えました。ザビエルはマラッカから鹿児島まで、中国人商人の船でやってきました。
- ⑤ ザビエル上陸記念碑
「三国名勝図会」に「唐渚(唐湊)」の記載があり、現在内陸部となっている唐渚は、「此所古へ海湾にして、唐土の来航泊繋せるゆゑに、唐渚の名ありといひ伝ふ」とあります。
- ⑥ 唐湊
鹿児島城下に琉球王府の出先機関が設置され、王府の役人が交代で詰めていました。薩摩藩は、琉球を通じたアジアとの貿易により、大きな利益をあげていました。
- ⑦ 琉球館

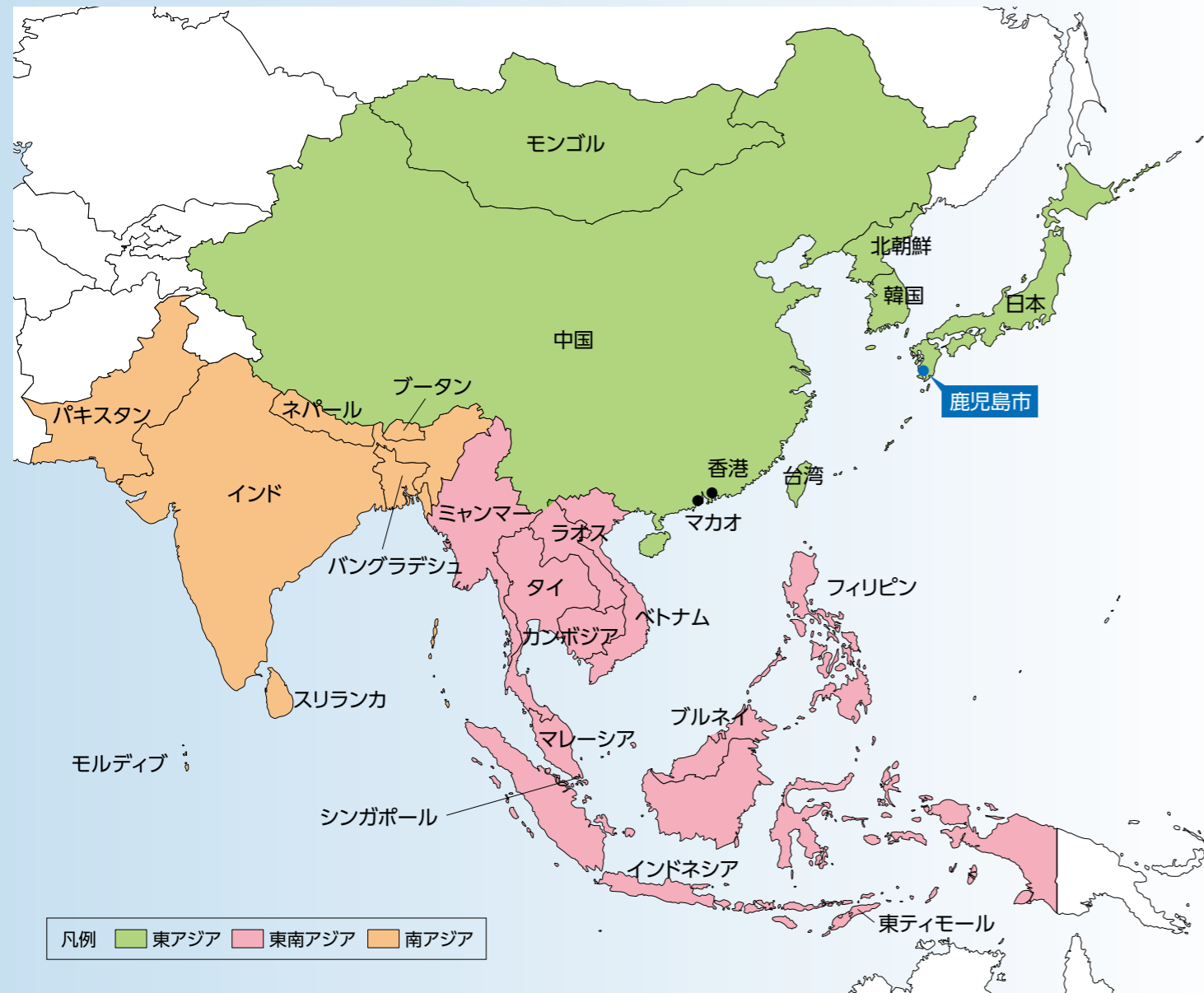


《アジアグルメ》

市内でもアジアの食を楽しむスポットがあります!

- 【中国】
A チャイナワン 東千石町 8-25 ☎099-225-0008
- 【韓国】
B 韓国館 千日町 14-18 テラダビル 2階 ☎099-222-1810
- 【タイ】
C タイ料理 リトルチェンマイ 千日町 7-15 丸よしビル 2階 ☎099-226-9517
- 【タイ、ベトナム、韓国】
D パラダイス食堂 照国町 17-28 縄田ビル 1階 ☎099-227-7788
- 【ベトナム】
E ベトナム料理 フォーハノイ 東千石町 11-11 ミヤコビル 2階 ☎099-223-1909
- 【スリランカ】
F スリランカかごしま パリンダヤー 東千石町 8-23 天神プラザビル 2階 ☎099-223-8008
- 【バングラデシュ】
G Ruposhi Bangla (ルポシ・バングラ) 荒田二丁目 23-11 ☎099-204-0774

※かごしまアジア青少年芸術祭の「アジアン屋台」にこれまで出店したアジア料理の店舗の中から掲載しています。



凡例 緑 東アジア 粉 東南アジア 橙 南アジア

区分	国・地域名
東アジア(7)	韓国、中国、モンゴル、北朝鮮、台湾、香港、マカオ
東南アジア(11)	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
南アジア(7)	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ

主な国・地域の紹介

中国

人口 約14億人
面積 約960万km²
(日本の約26倍)
首都 北京
言語 中国語
GDP 約14兆7,230億ドル
一人あたりGDP 約10,511ドル

韓国

人口 約5,178万人
面積 約10万km²
(日本の約4分の1)
首都 ソウル
言語 韓国語
GDP 約1兆6,308億ドル
一人あたりGDP 約31,637ドル

香港

人口 約747万人
面積 約1,110km²
(東京都の約半分)
言語 中国語(広東語)、英語など
GDP 約3,494億ドル
一人あたりGDP 約46,753ドル

台湾

人口 約2,360万人
面積 約3万6,000km²
(九州よりやや小さい)
主要都市 台北、台中、高雄
言語 中国語(台湾語)など
GDP 約6,690億ドル
一人あたりGDP 約28,371ドル

シンガポール

人口 約569万人
面積 約720km²
(東京23区と同程度)
言語 マレー語、英語、中国語、タミール語
GDP 約3,400億ドル
一人あたりGDP 約58,902ドル

タイ

人口 約6,617万人
面積 約51万4,000km²
(日本の約1.4倍)
首都 バンコク
言語 タイ語
GDP 約5,018億ドル
一人あたりGDP 約7,188ドル

ベトナム

人口 約9,762万人
面積 約32万9,241km²
(日本の約9割)
首都 ハノイ
言語 ベトナム語
GDP 約2,712億ドル
一人あたりGDP 約2,779ドル

オンラインでも気持ちはつながる! かごしまアジア青少年芸術祭 ・オンライン音楽祭

かごしまアジア青少年芸術祭は、アジアの各国・地域から青少年が集い、各国の音楽や舞踊などを披露する音楽祭のほか、アジア各国の料理が楽しめる屋台など、鹿児島に居ながらにしてアジアを体感できるイベントです。

毎年10月に開催され、鹿児島のたくさんの青少年が企画から広報、準備、当日の運営に携わってきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、2020(令和2)年以降は中止となってしまいました。

かわりに、オンラインで音楽を披露してもらいイベントを設け、国際交流を楽しもうと、ボランティアスタッフがそれぞれ任された役割に取り組んで活動しました。

私は、学校でボランティアスタッフの募集を知り、参加しました。自分で撮影した映像を友人や家族に見てもらうことが大好きで、本番のオープニング映像の制作に携わりました。

制作中は、アジア各地の青少年に撮影と出演の依頼をしました。言葉や文化の異なる相手に手づくりの台本を理解してもらえてうれしかったですし、イベントの当日、勉強してきた韓国語がスムーズに伝わったときの感動は忘れられません。

今回、ボランティアに参加することで、お互いの国の文化や地域の良さを確かめ合う楽しさを実感しました。これからも映像制作を通じて、鹿児島の魅力をアジアに発信していきたいと思っています。



志学館高等部 3年 工藤 なぎさん

鹿児島の素晴らしい魅力を東南アジアで発信しています!



鹿児島県ASEANディレクター
シユ コエンジャオ
許 原 韶 ケナードさん

私は、現在シンガポールに在住しており、県ASEANディレクターとして、東南アジアを対象に鹿児島産の食材の売り込みや鹿児島への旅行客の呼び込みを行っています。

2020年に新型コロナウイルス感染症が拡大して以降は、対面での食品フェアや観光セミナーを開催できなくなったため、オンラインを活用し、鹿児島の様子をライブで届けるバーチャルツアーを開催するなど、感染症収束後を見据えて鹿児島のブランディングに取り組んでいます。

鹿児島には見どころが多いですが、東京や大阪、北海道といったメジャーな観光地に比べると、まだまだ東南アジアでの知名度は低い状況です。今後もシンガポールを拠点に、地道に鹿児島の良さをPRしていきたいと考えています。

また、鹿児島の特産品のクオリティの高さを知ってもらい、東南アジアの人々に食材をはじめとした鹿児島の物産をもっと買ってもらえるようになると嬉しいですね。



ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略

本戦略と深い関わりがあるSDGsのゴール



策定の趣旨

鹿児島市では、明治維新から150周年の節目に、“次の時代”を見据え、アジアとの人・もの・情報の多面的な交流を成長エンジンとして、鹿児島の新たな活力を生み出すため、本市とアジア各国・地域との関わりについて、10年後を見据えた長期的な目標を明らかにするとともに、市民、NPO、事業者をはじめ、本市、国や県などの関係機関、大学、アジア各国・地域の県人会などが一体となった取組等の大綱を示す「ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略」を策定(2022(令和4)年3月改定)しました。

《戦略の体系図》

目指す姿

- ・市民にとってアジアが日常的な、身近なものになっている
- ・アジアからの留学生など多くの外国人が本市で暮らし、活躍している
- ・観光やビジネスで本市とアジアを人々が活発に行き来している
- ・市民や事業者が、アジアを舞台に積極的にビジネスを展開している

将来像 日本の地方都市から“アジアの中核都市・KAGOSHIMA CITY”へ

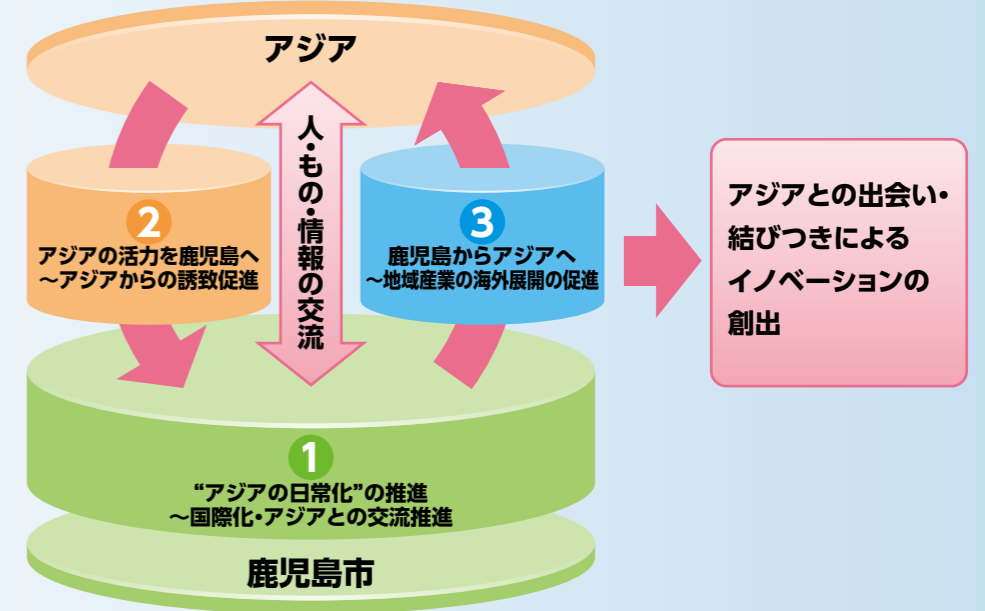
期間

2018
(平成30)年度～
2026
(令和8)年度
【9年間】

イノベーションの創出へ向けて

本戦略の推進により、市民一人ひとりが、アジアの人・もの・情報と出会い、また結びつくことにより、新たな気付きやアイデアが生まれ、アジアの人々との交流がさらに深まり、ネットワークが拡大することが期待されます。

また、アジアとの交流の深化・拡大の好循環を生み出すことで、本市の新たな活力につながる地域社会の革新“イノベーション”の創出につながります。



基本戦略

**1 “アジアの日常化”の推進
～国際化・アジアとの交流推進**

主なターゲット

未来を担う子ども・若者

基本方針

- ①市民レベルの国際化の推進
- ②アジアとの交流推進
- ③アジアとの交流基盤の整備促進

主な取組

- 市民レベルの交流の促進 ●留学生や技能実習生等の外国人住民と市民との交流推進
- 多文化共生の地域づくりの推進 ●外国人も安心・安全に暮らせるまちづくりの推進
- 国際感覚豊かなひとづくりの推進
- アジアとの交流の深化 ●アジアから本市への留学の促進
- アジアにおける本市在住経験外国人とのネットワークづくりの推進
- 関係機関・団体等と連携した海外航空路線の誘致・維持
- 国・県と連携した港湾施設の整備促進

重点プロジェクト

“かごしまでアジア”ふれあい体感プロジェクト

(市民が鹿児島に居ながらにして、アジアの人々とふれあい、各国・地域の言葉や伝統文化、食などを体感できる機会の創出)



成果指標

国際交流事業への参加者数

現況値 1,367人 2020(令和2)年度
目標値 2,120人 2026(令和8)年度

多文化共生事業への参加者数

現況値 1,938人 2020(令和2)年度
目標値 3,200人 2026(令和8)年度

2 アジアの活力を鹿児島へ～アジアからの誘致促進

主なターゲット

中国・韓国・シンガポール・タイ・ベトナム・台湾・香港

- ①戦略的な「KAGOSHIMA CITY」プロモーションの展開
- ②アジアからの観光客誘致による“稼ぐ観光”の推進
- ③アジアからの人材等の活用促進

- アジアにおける鹿児島ファンの拡大に向けたシティプロモーションの実施
- メディア、ブロガーなどの招へいや連携、映画等のロケ誘致などによる効果的な情報発信の実施
- 観光資源の磨き上げやイベント等の充実などオンリーワンの魅力づくり
- 外国人観光客受入体制の充実 ●多様なニーズに対応したMICE等の誘致
- クルーズ船の誘致・受入体制の充実
- アジアからの留学生等の市内就職の促進
- アジアからの人材の活躍や創業等に関する調査・研究
- アジアからの技能実習生等の安定的な受入体制の整備促進

“アジアに響け! KAGOSHIMA STORY”魅力創出プロジェクト

(鹿児島オリジナルの魅力を体験できる観光コンテンツの創出、多様なニューツーリズムの推進)



アジアからの外国人宿泊観光客数

現況値 27万人 2017(平成29)年
目標値 47万人 2026(令和8)年

アジアからの外国人宿泊観光客1人1泊当たりの観光消費額

現況値 31,700円 2019(令和元)年
目標値 34,100円 2026(令和8)年

3 鹿児島からアジアへ～地域産業の海外展開の促進

主なターゲット

中国・韓国・シンガポール・タイ・ベトナム・台湾・香港

- ①本市の特性を生かしたアジアへの販路拡大の促進
- ②市内事業者のアジアへの海外展開の支援

- アジアへの販路開拓・拡大に向けた展示会出展事業者等への支援
- 県や関係機関等との連携によるアジアにおける鹿児島ブランドの強化促進
- アジアとの海外取引に向けたクリエイティブ産業との連携促進
- 県や関係機関等との連携によるアジアへの農林水産物・加工食品の輸出支援
- ICTなど新たな技術を活用したアジアへの販路拡大に向けた取組の促進 など
- 海外情報の提供・相談
- 海外展開へ向けた支援機能の充実

“かごしま@アジアネットワーク”連携強化プロジェクト

(鹿児島の事業者とアジアの人的ネットワークづくり、海外展開にチャレンジする事業者等の情報収集支援 など)



本市の事業活用によるアジアへの海外展開に伴う商談成約件数

現況値 6件
2017(平成29)年度
目標値 9年間で47件
2026(令和8)年度